

「韓国併合」 100 年と在日コリアン

～ 韓国併合から 100 年、積み残された課題とは何か～

講師 朴一さん

2010/8/1(日)

ドーンセンター5F特別会議室

開場 13:30 開演 14:00～

参加費 1000 円

2010 年、「韓国併合」から 100 年を迎え、植民地支配や戦争の記憶は風化しつつあります。しかし、現在も朝鮮半島と日本の間には歴史を巡る葛藤や数多くの未解決の問題が存在しています。

日本の朝鮮植民地支配を背景として日本に暮らすこととなった在日コリアンは、激動する日本と朝鮮半島の情勢に多大な影響を受けながら、この 100 年を生きてきました。

併合 100 年を迎えた今、植民地支配に始まる歴史の克服に向けて積み残された課題とは何でしょうか。在日コリアンの処遇問題を含め、現在問われている課題を改めて考えます。

講師プロフィール



朴一(パク・イル)さん

兵庫県生まれの在日コリアン 3 世。大阪市立大学大学院経済学研究科教授。専攻は、朝鮮半島地域研究。

「たかじんのそこまで言って委員会」(読売テレビ)、「たけしのテレビタックル」(テレビ朝日)、「サンデージャポン」(TBS)などの番組でレギュラ - コメンテーターを勤める。著書に『韓国 N I E S 化の苦悩』(同文館)、『在日という生き方』(講談社)、『在日コリアンってなんでんねん』(講談社)、『朝鮮半島を見る眼』(藤原書店)など多数。

主催団体



在日コリアン青年連合(KEY)

在日コリアン青年(朝鮮半島にルーツを持つ若者、国籍不問)が集い、自主的に運営する NGO で、会員数は約 400 名。ハングル講座や学習会を中心とした在日コリアン青年の学びを通じたエンパワメント活動、韓国の青年たちとの交流・実践活動、在日コリアンや朝鮮半島に関わる社会市民活動などを行なっています。

韓国青年連合(KYC)



1980 年代に民主化運動を先導した青年組織の流れを受け継ぎ、1999 年に創立された青年団体。ソウルに本部、11 地域に支部を置き、全国で 2500 余名の会員が参加。ボランティアリズムに基づいた社会参与型プログラムの開発と運営に重点を置き、生活運動・地域共同体運動・社会改革運動・平和統一運動の 4 つの分野を中心に活動しています。

この講演会は、KEY 大阪地方協議会と大邱・浦項 KYC(韓国青年連合)との共同事業のプログラムとして開催します。

会場アクセス :

ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)

京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を通して 1 番出口より東へ約 350m。

地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1 番出口より東へ約 350m。

JR 東西線「大阪城北詰」駅下車。2 番出口より土佐堀通り沿いに西へ約 550m。

